

企業理念、グループ概要、目次、編集方針

マネジメント

トップメッセージ

ESG経営

東京建物グループのマテリアリティ

特集

環境

環境マネジメント

サステナビリティファイナンス

グリーンビルディングに関する外部評価・認証

気候変動への対応

> 汚染防止と資源循環

水資源

生物多様性

自然災害対策

社会

ダイバーシティ&インクルージョン

ワークライフバランス

人材投資・育成

健康経営/労働安全衛生

人権の尊重

品質・お客様満足の向上

不動産ストックの再生・活用

地域社会への貢献

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス

リスクマネジメント

コンプライアンス

サプライチェーンマネジメント

データ集

第三者保証

環境

汚染防止と資源循環

方針・考え方

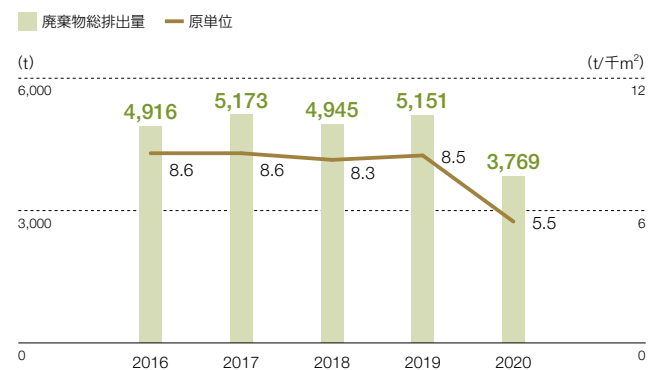
事業活動を通じて発生する廃棄物や有害物質は、人々や周囲の環境に大きな影響を与える可能性があります。

当社グループは「グループ環境方針」において「地球にやさしい省資源活動」を掲げ、あらゆる機会を通じて、資源投入量や排出量を削減する省資源活動に努めています。また、廃棄物や有害物質の発生削減と適切な管理を通じ、大気や水域の汚染防止に取り組んでいます。

📖 環境マネジメント P.15

📖 (データ集)汚染防止と資源循環の指標と実績 P.69

廃棄物排出量(再利用計画書届出施設)



ビル事業における廃棄物削減・管理の取り組み

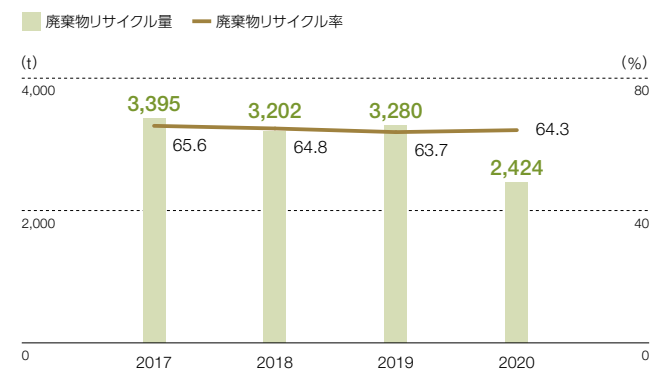
■ 廃棄物一元管理システムの導入

当社が保有・管理するオフィスビルでは、廃棄物の分別やリサイクルの強化等を通じて、廃棄物の発生抑制・リサイクル推進に取り組んでいます。また、廃棄物を適正かつ確に管理・把握するため、2018年より電子マニフェストを活用した廃棄物一元管理システムを導入しています。

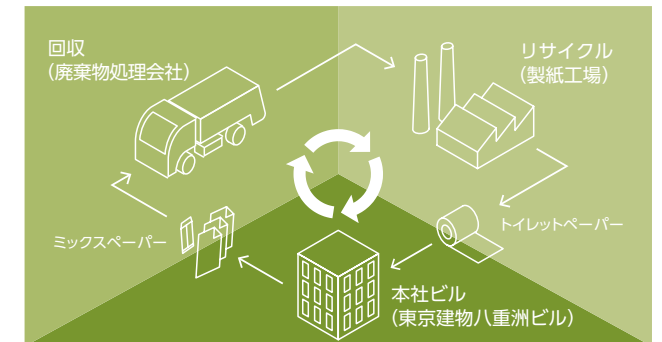
■ 古紙の循環リサイクルの実現

当社本社ビルから排出される古紙を回収・リサイクルし、トイレトペーパーとして再利用しています。廃棄物の循環リサイクルを体現することで、当社従業員およびテナント様のリサイクル意識醸成を企図しています。

廃棄物リサイクル量(再利用計画書届出施設)



古紙循環リサイクルの仕組み



■ 廃棄物委員会の開催

省資源・廃棄物削減を目的とする廃棄物委員会をテナント様と協働で定期的開催し、分別ゲームや行政からの社会動向の説明等を通じて、3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進しています。

■ テナント様からの廃棄物排出量削減の取り組み

テナント様によるごみの分別を促進するため、ごみ箱近くに掲示できる分別表を作成しました。順次、テナント様へ配布しています。

また、昨今特に問題となっているプラスチックごみの削減を目的として、当社が作成したエコバッグをテナント様へ配布しました。



ごみ分別表(不燃ごみ)

企業理念、グループ概要、目次、編集方針

マネジメント

トップメッセージ

ESG経営

東京建物グループのマテリアリティ

特集

環境

環境マネジメント

サステナビリティファイナンス

グリーンビルディングに関する外部評価・認証

気候変動への対応

＞汚染防止と資源循環

水資源

生物多様性

自然災害対策

社会

ダイバーシティ&インクルージョン

ワークライフバランス

人材投資・育成

健康経営／労働安全衛生

人権の尊重

品質・お客様満足の向上

不動産ストックの再生・活用

地域社会への貢献

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス

リスクマネジメント

コンプライアンス

サプライチェーンマネジメント

データ集

第三者保証

環境

汚染防止と資源循環

アスベスト対策

当社は、すべての保有ビルにおいて、アスベスト含有吹付け材の使用状況の調査を行いました。アスベストの使用を確認したビルにおいては、除去・封じ込め等の適切な措置をとるとともに、テナント様に対して情報提供を行っています。

フロン¹の適正処理

当社は、オゾン層保護、地球温暖化防止のために、フロン排出抑制法を遵守し、特定フロン(CFC、HCFC等)の限定的な利用、冷媒回収の厳格化、簡易点検・定期点検による漏えい確認を徹底し、フロン類の大気中への放出抑制を図っています。

また、ビル空調設備のリニューアルやビル解体時等に回収した空調機のフロンは適切に破壊処理しています。

建築材料における揮発性有機化合物(VOC)対策

当社は、テナント様の健康を維持するために、建築基準法の規定とは別に、建物において発生するシックハウス症候群の主な原因物質であるホルムアルデヒド発散製品の使用を禁止し、ホルムアルデヒド対策基準を定めています。この基準に沿って、新築ビルではホルムアルデヒド濃度を測定し、室内環境の安全性を確認しています。

PCB(ポリ塩化ビフェニル)の適正処理

当社が保有する各ビルで使用しなくなったPCB入りの電気機器(トランス、コンデンサ、安定器)については、紛失や漏油事故等のリスクを低減するため、専門処理業者による適切な処理を実施しています。

窒素酸化物(NOx)および硫黄酸化物(SOx)対策

当社は、事業活動を通じて排出される大気汚染物質を特定・測定し、適切に管理しています。一部のオフィスビルで使用している冷温水発生機やボイラー機器などのばい煙発生設備から排出される窒素酸化物(NOx)および硫黄酸化物(SOx)については、濃度を定期的に測定するとともに、大気

汚染防止法に定める環境基準を遵守し、設備の運転を行っています。

廃棄物の有価リサイクル

東京不動産管理は、資源の有効利用のため、建設産業廃棄物として処理していたものを、有価物*としてリサイクルする取り組みを進めています。原状回復工事、入居工事、設備更新工事等にて発生する各種電線、エアコンの冷媒配管、OAフロアー、蛍光灯、アルミ製フレキシブルダクト等の金属・プラスチック原材料を含むものは、リサイクル業者に有価物として売却し、分解・分別して商品として再利用しています。

* 有価物とは、有価処分した売却収入からリサイクル処理にかかる費用を差し引いて1円以上の価値があるもの。例えば、空調機、鉄製品等。

産業廃棄物処理と有価リサイクル処理の流れ

